

～備えあれば憂いなし～ 普通救命講習を受講

これまで名古屋工場や西条事業所では消防署が主催する普通救命講習を受講してきました。工場でも好評だったため、本日も急病人やけが人を救命できるよう同様の講習会への参加を開始しました。

救急車は通報があつてから現場まで全国平均でも6～7分かかります。しかし、人は心臓停止から3分、呼吸停止から10分で死亡率が50%になります。現場に居合わせた人が、いち早く応急手当を開始することで、救命効果は高くなります。そこで、普通救命講習では倒れている人を発見してから、救急車が来るまでの応急手当を実践しました。相手が人形であるにも関わらず、なかなかスムーズにはいかず、繰り返し訓練をしないと、とっさに対応することは難しいと感じました。また、心肺蘇生は成人、小児、乳児によって異なるなど、初めて知ることも沢山ありました。

今後も従業員に広めていき、社内だけでなく街中での救命活動に役立てるべく進めてまいります。



指導のもと、心臓マッサージ中



AED（電気ショック）を急病人へ装着



講習を修了すると認定証が配布されます。

3年以内の再講習が、技能の維持向上に役立ちます。

以上

※上記についてのご意見・ご感想は「お問合せ」フォームよりご連絡下さい。